

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		運動普及推進事業						予算事業名		運動普及推進事業費							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	健康増進法								
				04	01	03	24	経常経費	根拠法令								
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう						事業の区分		主要事業							
		健康長寿で安心できる暮らしづくり															
		健康づくりの推進						担当課係等		健康増進課							
事業期間		継続 (平成 8年度～ 年度)										健康増進係					
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
市民が日常的に運動を行い心身の健康が維持できるよう、運動の指導及び普及活動をし、地域での推進活動が活性化するボランティアである運動普及推進員を養成する。また、運動普及推進員と共に運動することで意義や楽しさを実感し健康づくりに取り組むことができる。								第2次健康日本21において、市民の健康保持・増進及び生活習慣病予防のため、大きな柱として「身体活動の増加」「健康な食事」「禁煙」を推進している。									
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】									
市民向けの運動教室を開催し、心身の健康づくりのための運動を普及啓発する。 ・リズムエクササイズ教室開催 ・ステップ・ラダー運動教室開催 ・依頼による出前運動教室開催 ・ウォーキングイベント開催 運動普及推進員養成のため、養成講習会を開催する。 ・8回コースで実施								18歳以上の市民及び運動普及推進員 【事業をとりまく環境の変化】 第2次健康日本21において、市民の健康保持・増進及び生活習慣病予防のため、大きな柱として「身体活動の増加」「健康な食事」「禁煙」を推進している。									
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】									
・リズムエクササイズ教室開催 ・ステップ・ラダー運動教室開催 ・依頼による出前運動教室開催 ・ウォーキングイベント開催 ・運動普及推進員養成講習会開催				・リズムエクササイズ教室開催 ・ステップ・ラダー運動教室開催 ・依頼による出前運動教室開催 ・ウォーキングイベント開催				・リズムエクササイズ教室開催 ・ステップ・ラダー運動教室開催 ・依頼による出前運動教室開催 ・ウォーキングイベント開催 ・運動普及推進員養成講習会開催									
■事業費																	
				R04年度		R05年度											
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0										
	県		支	出	金	0	0										
	地		方		債	0	0										
	そ		の		他	0	0										
	一		般	財	源	397	200										
歳 入 計 (千 円)				397		200											
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千円)		金額 (千円)											
	07	報償費		10		10											
	10	需用費		59		30											
	12	委託料		328		138											
	13	使用料及び賃借料		0		22											
歳 出 計 (千 円) (A)				397		200											
伸 び 率 (%)						-49.62											
備 考	総合計画 49ページ																
	予算書 114ページ																

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	各種教室等の延べ実施回数	回	目標	24.00	25.00	25.00
	運動教室(リズ・ムクサイズ 教室・ステップ ラダー 運動教室・出前運動教室等)の延実施回数		実績	24.00	0.00	0.00
	運動普及推進員協力延人数	人	目標	100.00	110.00	110.00
	運動教室(リズ・ムクサイズ 教室・ステップ ラダー 運動教室・出前運動教室等)の延協力人数		実績	103.00	0.00	0.00
成果 指標	リズ・ムクサイズ 教室参加延人数	人	目標	300.00	400.00	400.00
	毎月第1・第3月曜日に開催している教室の参加者数		実績	366.00	0.00	0.00
	ウォーキング イベント参加者数	人	目標	50.00	50.00	50.00
	例年9月に開催している市民向けウォーキング イベントへの参加者数		実績	27.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	健康を増進するうえで運動を推進することは重要である。また、そのために運動の普及啓発を行う運動普及推進員を養成することは必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	第2次健康日本21にも地域における運動の推進とあり、市民の健康づくりを市民団体が支援することは理想的であるため。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的であり妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	運動普及推進員の人数の減少や高齢化もあり、活動回数にばらつきがあるため。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	教室やイベントについて広く市民向けに周知・広報はしているが、参加者はほぼ固定化され、新規参加者が多くない状況であるため。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	参加人数は向上したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限を行っていることから、参加人数は拡大以前と比較し減少している。しかし、運動教室などは市民に定着しつつある状況にある。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	各種教室の回数及び参加者数は横ばいの状況であるが、内容の充実を図っており、市民が興味を持つような内容を実施している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各種運動教室等は市民に好評であるが、参加者の固定化がみられる。また、運動普及推進員の高齢化や人数の減少のため指導側の参加率の低下もみられている。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
若い世代の推進員の養成を行い、日常生活に取り入れることができる運動を広く市民に普及する。今後も市民のニーズに応じた教室等を実施していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	方向性の具体的内容 各地域に運動を普及させるため、運動普及推進員を養成するとともに活動を支援し、自立した地区組織活動を目指す。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり